

生活と平和を破壊する基地はいらない！ 米軍基地はアジアから撤収せよ！
植民地支配と侵略戦争への居直りは許さない！ 韓国民衆と連帯しよう！
安倍をたおそう！ 東アジアの平和を創ろう！

「2019 岩国行動」に集まろう！



岩国の空に 戦闘機ではなく 平和の紙飛行機を

日時：11月16日(土)15時～17日(日)14時

場所：岩国市民文化会館 小ホールほか

参加費：1日参加・通し参加とも1000円、労働者反戦交流集会500円)

1日目—15:00 労働者反戦交流集会

17:30 全国反基地交流会（岩国、萩・阿武、佐世保、築城、沖縄などの報告）

2日目—9:00 岩国国際連帯集会（韓国・米国からゲスト招請予定）

12:00 ごろから、市役所前～岩国米軍基地正門に向かうデモ

※他に、岩国基地フィールドワーク、市内での街頭宣伝、小交流会など企画中

**主催：アジア共同行動(AWC)日本連絡会議
岩国・労働者反戦交流集会実行委員会**

参加申し込みは、別紙の申込書にご記入の上、下記またはAWC会員までお知らせください。

【連絡先】AWC日本連 / 自立労働組合連合気付 TEL 0774-43-8721 FAX 0774-44-3102

◇ 艦載機の移駐完了から1年半—米軍機120機体制で激増する戦闘機事故と騒音被害

くり返される事故—— 移駐完了した岩国所属の空母艦載機スーパーホーネットは、昨年1年で3回の大事故を起こしました。最初は6月グアムで、二度目は11月12日沖縄沖合での墜落事故、三度目は12月6日高知沖で空中給油機と衝突し2機とも墜落・6名死亡の大事故でした。今年5月7日、海外では唯一岩国基地に配備されているF35Bが離陸時にバードストライクでクラスAの大事故！ 安倍がトランプから爆買いした空自F35Aの死亡事故を見ても明らかのように、最新鋭戦闘機とは、パイロットの命も、ましてや地元住民の命も一顧だにしないものです。

天井知らずの爆音—— また、艦載機移駐で海兵隊基地と同時に海軍基地になった岩国基地の戦闘機騒音は、天井知らずに増大しています。2019年3月末までの1年間に岩国市に寄せられた基地関連の騒音などの苦情は6509件に及び、過去最多だった前年度の(3543件)の実に1.8倍と激増しています。この5月には、朝から夜10時までタッチアンドゴーを繰り返す着艦資格訓練が行われ、今後、岩国基地で本格的な着艦訓練や夜間着艦訓練が行われていくのではないかと憂慮されています。

ますます秘密主義—— 増大する事故と騒音に反比例して、米軍はますます秘密主義となり、岩国の戦闘機が日々飛来する広島でも、それが米軍機か自衛隊機かさえ米軍は明かさなくなっています。防衛施設局も、米軍機がどこをどのようなルートで飛行しているかさえ把握しようとしません。

◇ 岩国基地の強化・拡大と連動し、強化される西日本～南西諸島の在日米軍基地と自衛隊

岩国基地は米軍のハブ(中継)空港化していると市民は批判します。多くの米軍機が岩国基地を經由して全国で訓練する結果、事故もまた全国で増大しています。ニュースで岩国基地のことを見聞きすることが増えました。岩国基地の強化は全国の問題になっているのです。4月1日、岩国基地を飛び立って神奈川の厚木基地に向かうはずのオスプレイが住宅密集地にある大阪伊丹空港に緊急着陸して、地元住民の怒りをかったこともありました。

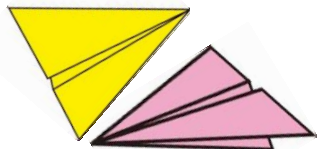
日米政府は「沖縄の負担軽減」を口実に空中給油機を岩国に押し付けたのに、普天間飛行場には岩国のF35Bが飛来し、祝日もおかまいなしに深夜まで爆音をまき散らしています。岩国基地の強化と連動して佐世保米海軍基地では新型の強襲揚陸艦が配備され、岩国のF35Bを搭載して朝鮮半島へと向かいます。米軍は岩国のF35Bを来年にも追加配備し倍増の32機体制とする予定で、軍拡は留まるところを知りません。さらに、山口駐屯地むつみ演習場にイーグリス・アショア配備を画策し、米軍岩国基地との一体的運用を想定した弾道ミサイル迎撃システムを構築しようとしています。

福岡県の築城航空自衛隊基地も滑走路延長で米軍拠点化されようとしています。宮古など南西諸島でも自衛隊の配備強化が進んでいます。2019岩国行動では、このような岩国基地の強化と連動した西日本～南西諸島での米軍基地・自衛隊基地の強化にも注目して取り組んでいく予定です。

◇ アジア太平洋地域の民衆と連帯し戦争反対、東アジア平和のための希望を岩国から創り出そう！

安倍政権は、民意を無視した辺野古新基地建設の強行、改憲策動やホルムズ海峡問題での有志連合参加など、戦争につながる危険なたくらみや、安倍政権の無数の汚職や消費税増税などの生活破壊から目をそらせるため、韓国に対する輸出規制問題で対立と差別と排外主義をあおり、自らを正当化しています。また、新たな戦争前夜を思わせる関西生コン支部への労組破壊の大弾圧が、すでに1年以上継続しています。これら安倍政権の戦争政策との対決は、一貫した岩国行動の課題です。

韓国では、安倍政権の韓国輸出規制を契機として反安倍の大衆運動が拡大し、日米韓の軍事同盟形成の最後の環として2016年に強行された日韓軍事情報保護協定(GSOMIA)もついに破棄されました。朝鮮半島やアジア・沖縄の民衆とともに、岩国から、全国から、世界から、共に「安倍をたおそう」の大きな声を上げていく場として、2019岩国行動を成功させていきましょう。



**「2019 岩国行動」に、ご協力と
多くのご参加をお願いします。**

参加申し込みは、別紙の申込書にご記入の上、下記または AWC 会員までお知らせください。

【連絡先】 AWC 日本連 / 自立労働組合連合会付 TEL 0774-43-8721 FAX 0774-44-3102